

【ICT教育×読書推進】小学校3校で「ブックトレーラーコンクール」を開催 ～本を読んだ感想を動画で伝えるICT教育の実証実験～

株式会社フレール館(本社:東京都文京区、代表取締役社長 吉川隆樹、以下フレール館)は、急速に進む学校現場でのICT教育を活用して読書推進を活性化させるため、「ブックトレーラーコンクール」を開催いたします。

今回は実証実験という位置づけで、「近畿大学附属小学校」(奈良県)、「郡山ザベリオ学園小学校」(福島県)、「森村学園初等部」(神奈川県)の3校ご協力のもと、4年生～6年生約555名の児童に参加いただきます。3校の児童には授業の一環として課題図書感想を伝える動画を制作してもらうことで、プレゼンテーション能力やデジタルツールの活用スキル向上を図ります。また、表彰時にはオンラインで学校間を繋ぎ、交流の機会を設けます。

次年度以降には対象年齢やジャンルを拡げるとともに、パートナー企業や出版社、団体を募ることで読書推進活動の輪をさらに大きく広げていくことを目指します。



従来、本の魅力を伝える活動には感想文や感想画などのアウトプットや各コンクールがありますが、「Society 5.0」と呼ばれる今の時代にあった新しい表現方法や手法を加えることで、より多くの子どもたちの個性を発掘するとともに、積極的に本に親しむ機会を創出し、出版業界全体を盛り上げたいという思いから、本コンクールを開催する運びになりました。

※2022年1月末まで作品を募り、3月上旬にオンラインで審査結果発表と表彰式を開催予定。

受賞作品は弊社コーポレートサイトにて公開いたします。

■審査委員(敬称略、順不同)

- ・本田亮(国連 WFP 理事 CMプランナー)
- ・佐々木康晴(株式会社電通 執行役員 CCO)
- ・土居安子(大阪国際児童文学振興財団理事)
- ・おおぎやなぎちか(課題図書著者・児童文学作家)

【児童による審査】

- ・参加3校の児童 555名

■ブックトレーラーとは？

映画の予告編(ムービートレーラー)のように、自分の読んだ本の感想や面白さを他の人に伝えるためのプロモーション動画のこと。



■課題図書

『家守神① 妖しいやつらがひそむ家』

おおぎやなぎちか/作 トミイマサコ/絵

発行年月 : 2021年11月

対象年齢 : 小学校高学年から

ISBN : 9784577049839

書誌情報 : <https://www.froebel-kan.co.jp/book/detail/9784577049839/>

プロモーション動画 : <https://youtu.be/uwycCFpTzgQ>

<書誌情報>



<動画>



<本件に関するお問合せ先> フレール館 広報担当 kouhou@froebel-kan.co.jp

■著者・おおぎやなぎちか氏 コメント



小学生の皆さんが『家守神』のブックレーラーを制作してくださると聞いて、個性豊かな家守神たちも、きっと大喜びしていることでしょう。どんな作品が届くのか、私もわくわくしています！まずは、物語の世界を楽しんでください。

【著者プロフィール】

秋田県生まれ。日本児童文学者協会、日本児童文芸家協会、全国児童文学同人誌連絡会「季節風」会員。『しゅるしゅるぱん』（福音館書店）で第45回児童文芸新人賞、「オオカミのお札」シリーズ（くもん出版）で第42回日本児童文芸家協会賞受賞。児童書の創作に『どどこ山はどこにある』（フレーベル館）、『ぼくらは森で生まれかわった』（あかね書房）など多数。

■フレーベル館の事業内容

「アンパンマン」シリーズや「ウォーリーをさがせ！」シリーズをはじめとした児童書の出版や、保育関連施設向けの遊具・教材・玩具の販売、そして室内あそび施設事業の展開など、子どもたちの健やかな育ちを支え続けるために、子どもに関わる事業を幅広く手がけています。

・フレーベル館コーポレートサイト <https://www.froebel-kan.co.jp>

